

# 年頭のごあいさつ

このまちに住むことを  
誇りとするために

新年明けましておめでとうございませう。

昨年、あしかがフラワーパーク駅の開業、足利大学本城キャンパスの開校、人工芝の西部多目的運動場『あしスタ』（足利大学大前キャンパス敷地内）のオープンなど、まちに賑わいと活気をもたらす年となりました。

特に、あしかがフラワーパーク駅の開業は、これを新たなまちづくりへの契機と捉え、今年4月にJR足利駅内に『(仮称)足利市移住・定住相談センター』を開設します。移住に係る各種情報提供や移住者への支援をはじめ、観光案内やイベント情報の発信など、

▼昨年6月にオープンした『あしスタ』での始球式



の発信など、まちなか活性化のための活動拠点とします。また、あ

また、あ

業団地は昨

年までに全



足利市長 和泉 聡

10区画が完売し、業界のリーディングカンパニーが進出しています。企業誘致は、雇用の場を創出し、若者世代の移住・定住を促進する政策です。次なる産業団地開発についても、早期に場所を確定させ、本格的な手続きに着手します。

最近、「テレビなどで足利がよく取り上げられている。」「東京にいる子どもから足利の知名度が上がって誇らしいと言われている。」などの声を多く聞きます。これも、『素通り禁止/足利』を掲げたシティプロモーションや映像のまち構想に対する市民の皆様との協力の賜物であり、市民と議会と行政が力を合わせて積み上げてきた地道な努力の成果であると実感しています。

今年も、市民の皆様が足利市に住むことを誇りとしていただけるまちづくりを目指し、全身全霊で取り組んでまいります。

市民・行政と協働し  
よりよい未来に

年頭に当たり、市議会を代表して謹んでご挨拶申し上げます。皆様には、清々しい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、皆様のご支援により議員一同が議会活動に精励できたことに對し、心からお礼申し上げます。

さて、現在私たちは人口の減少や地域経済の停滞など様々な課題を抱えており、その解決のためには、市民と議会と行政が相互に連携し、協働していくことが重要であると思っております。そのような中で、多くの歴史文化遺産を擁し、自然に恵まれている本市をより一層発展させるべく、『観光都市宣言』を昨年2月に決議しました。

▼市庁舎に掲げられた『観光都市宣言』の懸垂幕



本市の魅力をもっと磨き、多くの方々を惹きつけ



足利市議会議長 渡辺 悟

る観光都市の実現を目指してまいります。

一方、昨年は自然災害が多く発生した年でもありました。こうした大規模災害に對応すべく、議会の役割や議員の基本的な行動を定めた『足利市議会災害時BCP(業務継続計画)』を策定いたしました。災害発生時ににおける情報などの一元化を図るため、議会における『災害対策支援本部』を設置することで、行政と連携した早期の復旧、復興が図られることとなります。

市議会として、今後も諸課題をしっかりと見極め、議決機関として、その役割と責任の重さを自覚し、未来に向けたよりよいまちづくりに邁進してまいります。

本年が皆様にとりまして、幸多く実りのある一年となります。よう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。



足利で暮らしたいを全力サポート!  
(仮称)  
足利市 **移住・定住相談センター** 設置へ

企画政策課・☎2103

**愛称&ロゴ**を募集します



◀場所はJR足利駅北口内の旧びゅうプラザ。気軽に立ち寄れる休憩所としても整備予定。

市ではJR足利駅内に『移住・定住相談センター』を設置することになりました。

本市への移住・定住希望者の相談・支援、市の玄関口の立地を生かした観光案内などを行い、併せてJR足利駅北口周辺の活性化を図ります。

**開設予定日** 平成31年4月下旬

**主な機能** 移住・定住相談窓口、移住者への支援、地域おこし協力隊の活動拠点、まちのPR、観光案内、イベント情報などの発信、休憩スペース、結婚支援センター機能など

**移住・定住促進サイト**

**からりこターン**もぜひご覧ください。



利用者にわかりやすく、皆さんに愛着を持ってもらえるよう、本施設の愛称とロゴを募集します。

**応募資格** プロ、アマ問わずどなたでも可

**応募内容** 施設の立地、機能などを加味したもの

**応募方法** 2月6日(水)(必着)までに『愛称とロゴ』と住所、氏名、電話番号を書いて下記の方法で同課

▷郵送=〒326-8601 足利市役所企画政策課あて

▷Eメール= [kikaku@city.ashikaga.lg.jp](mailto:kikaku@city.ashikaga.lg.jp)

※Eメールの場合は件名に『愛称応募』と記載。

**特典** 最優秀作品賞1点に地元名産品の詰合せ

※詳しくは市ホームページでご確認ください。

▶都内での移住交流会の様子。これまでも移住・定住促進事業によって約30人の方が本市に移住しました。



市長コラム  
No.061



和泉 聡

**全力で生き、学び続ける**

毎朝5時過ぎ。今の時期、真っ暗な時間ですが、布団から抜け出しジャージに着替えて外に出ると、星空と冷たい空気が迎えてくれます。そして近所をゆっくりと6キロ弱走る。最後には公園のベンチで、ストレッチ、腹筋と腕立て伏せをして、自宅に戻りシャワーを浴びる。市長になつてからずっと続けている日課です。今年4月からは、走りながらラジオ英会話講座を4種類聴いています。

体調管理は重要な仕事だと思っています。体調が悪ければ気持ちも弱気になる。時に市民を代表して、重大な決断や選択をしなければならぬ仕事ですから、体調が悪く気持ちが落ち込んでいたがために、弱気な判断、間違つた選択をしたら市民に申し訳が立たない。いつもそんな思いが自分の中にあるから

です。シャワーから出ると、仏壇にお線香をあげ、「今日も一日、『このまちにとって何が最善か』、ただそれだけを物差しに、走り抜けます。どうかお守りください」と心の中で祈ります。そして机に向かい、静寂の中で勉強を始めます。市長になつてからこの朝の時間帯にしている勉強は、中国の古典を読むこと。論語、孟子、大学、中庸、伝習録、近思録……。そこにはリーダーとしての心構え、悩んだ時に助けとなる様々な教えが散りばめられているからです。インドの政治指導者ガンジーは「明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ」(Live as if you were to die tomorrow. Learn as if you were to live forever.)と言ひ残しました。明日死ぬかもしれないからだ、今日を全力で生きる。人間、いくつになつても、学ぶことに遅いということはない。いまちにするために、一日を全力で生き、学び続ける。今年もそんな一年にしたいと思います。

Pick Up! お知らせ

税

福祉

募集

子育て

健康

働く

講座・教室

イベント

施設

相談